

京都地域会

J

I

A

HOME > イベント・コンペアワード > イベントレポート > 2013年見学会 ■ 山中湖～伊東の建築を訪ねて

レポート

京都

イベント・レポ

投稿：2013年6月3日
by 編集

カテゴリー;

お知らせ

イベント告知・レポート

▶ 建築と子供たちin KYOTO

▶ 建築家作品展

▶ 地域会の活動

2013年見学会 ■ 山中湖～伊東の建築を訪ねて

ポスト

シェアする 0

レポートを見る

本イベントは定員に達しましたので、申込締切とさせて頂きました。
多数のお申込を頂きありがとうございました。

2013年見学会 ■ 山中湖～伊東の建築を訪ねて

- 日程：6月29日～30日
- 募集人数：20人（先着順）
- 行き先：山中湖～伊東方面
（吉村順三設計の住宅、東山岸邸、とらや工房、楓深庵他）
- 参加費用：20,000円
（宿泊・昼食、現地移動費用、見学先御礼、チケット含む）
＊三島駅までの交通費、切符は参加者各人で用意。
- ＊最終スケジュール・見学先は調整中です。6月25日までにお知らせいたします。出発時間・解散時間が変わることはありません。
- ＊天候・現地交通事情等によりスケジュールが変更になることがあります。
- ＊宿泊先は小規模なため相部屋となります。一人部屋ありませんのでご了承ください。

申込、問合せ先：設計組織DNA 角直弘

FAX：075-255-7125

E-MAIL：info@den-nen.com

イベント名称	2013年見学会 ■ 山中湖～伊東の建築を訪ねて
開催日時	2013年6月29日～30日
募集期間（締切日）	2013年6月7日
定員	20名
参加費	¥ 20,000
地図の表示	

【レポート】



アーカイブ;

年月を選択

- 最新のお知らせ;
- 2026年4月12日
京都の景観政策の進化と建築・都市デザインの展望（JIA京都地域会通常総会・基調講演）
- 2026年3月23日
Web3.0時代の建築デザインはどう変わるのか～AIと共に進化する設計事務所の新戦略～
- 2025年12月27日
A HAMLET～亀岡の集落リノベーション見学会ご案内
- 2025年12月6日
建築と子供たち in KYOTO 2025「〇〇を営む京町家の設計」レポート掲載しました
- 2025年6月29日
JIAヘリテージマネージャー養成講座

検索



■見学後記 さる6月29・30日、山中湖から伊東方面にかけて吉村順三作品の4作をハイライトに10作の建築を見る機会に恵まれました。定員いっぱいの20名+日帰り参加1名の方々にご参加いただき、参加者同士の交流も活発で大変勉強になり、刺激を受け充実した会になったと感じています。初日は内閣総理大臣も務めた岸信介の「東山岸邸」。現在は公開されていて、「とらや工房」が併設されています。吉田五十八の建築は実作の住宅を見るのは初体験でした。写真や図面でディテールの建築家だと一方的に理解していましたが、和室のプロポーションは特に素晴らしく、その美を獲得するための執念の納まりが積み上げられているのだと理解できました。続いて山中湖に移動し、山本良介氏設計の「楓深庵」を見学。企業オーナーの所有でゲストハウスとして使用されている別荘建築です。高低差のある敷地を活かした高床式の建物で、それぞれのレベルの風景が各室の眺望になっています。加藤邸は山中湖北側の別荘地に位置します。この別荘地には3件の吉村作品があります。その中でも今回は吉村事務所OBの日高章さんの案内で「加藤邸」を見学できました。少し低めのスケール感や開口部のディテール、住まいとしての様々な工夫…など吉村作品を十分に味わえる住宅でした。ここからは宿泊先の伊東まで一気に移動して、(株)岩本組の研修施設である「川奈倶楽部」で夜を過ごしました。参加者の皆さんと親睦を深めるとともに夜遅くまで見学先の印象や皆さんの建築家としてのお話などお聞きでき有意義で贅沢な時間を過ごすことができました。二日目は朝から吉村作品である「橋本邸」と遠藤邸を見学。特に遠藤邸は吉村事務所OBで本作担当の藤井章氏の案内で見学しました。晩年期の作品であり、面積も広く天井も高く吹抜けもあり外壁も煉瓦を使い…と吉村順三の住宅作品の中では異色作です。また設計担当にあたっての苦労話などこぼれ話もあり、当時の吉村事務所の雰囲気がよく伝わってきました。昼食の場所は「熱海リフレッシュセンター」本見学会に参加されていた設計者本人である横内さんの案内で建物を一巡り。横内さん曰く「前川事務所の卒業設計のつもりで設計した」とのこと。世間が浮かれていた時期にしっかりと地に足をつけながら仕事に取り組んでおられた様子が感じられる作品でした。その後、いまや重要文化財となったブルーノ・タウトの日向邸。最後に沼津に移動して、宿泊施設である「沼津倶楽部」。旧館は近代和風の建築の「松岩亭（しょうがんでい）」。全ての部屋が茶室のようなつくりの数寄屋造りで凝りに凝ったつくりです。新館は渡辺明氏による宿泊棟で、これまた各室のタイプが異なっていて建築家の仕事に対する喜びと迫力が伝わってくる作品でした。住宅は当然ながら非公開なのですが、設計者の見学の申し出に快く応じてくださる方が多く、クライアントと設計者の良好な関係、この作家の建物に、住宅に住んでいる、所有しているというプライドが感じられました。見学にあたってご尽力いただいた道家駿太郎さん、山本良介さんをはじめ吉村事務OBの方々、多くのクライアント、関係者各位の協力のもと本見学会が可能になったことにあらためて感謝を申し上げます。この経験を糧にして日々の仕事に力につなげて行こうと心新たな思いでいます。(文責：角直弘) 以下見学先 ■ 初日 東山岸邸（吉田五十八） とらや工房（設計：内藤廣） 楓深庵（設計：山本良介） 加藤邸（設計：吉村順三） 川奈倶楽部（設計：吉村順三）～宿泊 ■ 二日目 橋本邸（設計：吉村順三） 遠藤邸（設計：吉村順三） 熱海リフレッシュセンター（設計：横内敏人） 旧日向邸（設計：B.タウト+渡辺仁） 沼津倶楽部（設計：渡辺明）

関連記事

2014年見学会■川越～所沢～東京の建築を訪ねて (24.3)
【申込締切】非公開の天龍寺宝蔵院と大河内山荘を訪ねる (6.2)

« ひとつ前に戻る

前へ

次へ

近日開催のイベント・コンペ



Web3.0時代の建築デザインはどう変わるのか～

学生可

●

↑ HOME

ページ上部へ戻る ↶

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部

〒541-0051 大阪市中央区備後町2-5-8 綿業会館4階 TEL 06-6229-3371

MAP

MAIL

© 2011-2026 JIA Kinki.